

MICE 市場トピックス（10月）

毎月、海外の複数市場について、MICE 関連の状況やトピックスをご紹介します。

- ① MICE 関連の旅行会社や関係団体の動向
- ② MICE 関連の訪日意欲の有無・変化
- ③ イベント開催の有無とその感染症対策
- ④ その他の特記すべきトピックス、ニュース

（特筆する情報がない場合は、当該番号に「なし」と記載しています。）※2020年10月末時点の情報です。

【中国（北京事務所）】

- ① MICE 関連会社はほぼ休業状態で、しばらくその状況は続くと思込まれる。
- ② 日本の感染状況が落ち着き、日中間の往来が再開となるまでは、訪日意欲はないと思われる。
- ③ 感染状況が落ち着いているエリアにおいては、展示会等が開催されるようになっており、JNTO 北京事務所では、9月5～9日に、コロナ禍後、北京市で最初に開催された大型イベントである「2020 国際冬季運動博覧会（WWSE）」に出展、9月25～27日には大連市で「2020 中日博覧会」に出展した。
- ④ なし

【中国（上海事務所）】

- ① MICE を取り扱う旅行会社は通常通り出勤しており、現在は海外旅行が手配できない一方、中国国内を目的地とする MICE 手配で忙しい様子が見られる。
- ② 海外旅行ができないため、インセンティブや社員旅行の目的地を国内に振り替えたり、現金や物品支給に変更したりしている企業がほとんどである。
- ③ 11月5～10日に第3回中国国際輸入博覧会が上海で開催された。出展者はブース施工前、博覧会開始前に合計2回のPCR検査が義務付けられ、会場を訪れるバイヤーも来場前にPCR検査が義務付けられた。11月10～12日に第15回上海国際医療旅游展覧会が上海で開催された。1つ目の入り口では健康コード（個人のウィルス感染に対する安全度を判定するスマホツール）の確認が行われ、2つ目の入り口でマスクの着用確認、体温確認があった（以下写真）。



- ④ なし

【中国（広州事務所）】

- ① 中国政府が2020年1月24日に現地旅行会社の団体ツアー及びフライト+ホテルのパッケージ商品の造成販売を禁止して以来、各社の海外部門は未だほぼ再開されていない。一方、インセンティブツアーを実施している企業からは来年度に向けて数件問い合わせが入ってきている。
- ② なし
- ③ MICE イベントは一部中止やオンライン開催になっているが、リアル開催も増加。イベント開催時の感染症対策は、政府の定めたガイドラインに沿って、事前実名登録（入場制限）、健康コードの提示、検温及びマスク着用の要請等が実施されてい

る。

JNTOでは、9月11～13日に広州・中国進出口商品交易会展館にて開催されたCITIEに出展。来場者はほぼ全員マスクを着用していたが、ブースステージ前に撮影のために集まるなど、密になることへの嫌悪感は見られなかった（以下写真）。



④ なし

【台湾】

① なし

② 2021年3～5月に予約が入っていた訪日インセンティブ旅行のうち、一部は訪日時期が9月に延期され、一部は台湾域内旅行や台湾で使えるクーポン配布に切り替えられた。

③ なし

④ 「海外旅行再開は来年末」との予測

台湾政府は11月7日、海外の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、海外旅行の再開は来年末となる可能性が高いとの見方を示した。旅行業界団体は、海外旅行の再開が来年末となれば、それまでに台湾の旅行会社4,000社のうち1,000社が倒産し、2万人が失業する恐れがあるとして、旅行業界救済措置の継続を政府に呼び掛けた。

【インド】

① MICEに関する問い合わせは皆無で、販売しているのは一般観光のみ。

② 2021年3月実施の小規模なインセンティブ旅行の問い合わせが入っている。

③ 9月30日発表「封鎖解除第5期」（対象期間は10月1日～11月30日）

- ・ B to Bの展示会は10月15日から実施できる。

- ・ 100人以内という条件付きで9月21日から許可されていた社交・学術・スポーツ・娯楽・文化・宗教・政治にかかわる行事・集会は、州・連邦直轄地政府によって、100人以上での開催も許可される場合があるとした。ただ、屋内で開催する場合は会場の定員の50%以内、最大200人と条件付き。

④ モルディブ政府の受入対策

モルディブは、7月15日から、世界各国の旅行者の受け入れを再開しており、インドからも富裕層のFIT旅行を中心に受け入れている。1つの島に1つのリゾートであり、他の宿泊客や地元住民との接触機会がないことを強調し、もし到着時にコロナ陽性となっても、14日間の隔離期間の宿泊料をホテル側が負担するサービスを打ち出し、安心・安全情報の発信を積極的に行っている。

【ドイツ】

① なし

② なし

③ 世界最大の書籍見本市ブックフェア（10/14～18）はオンライン開催

フランクフルト・ブックフェアは毎年30万人以上が来場する世界最大の書籍見本市で、今年8月までは10月のリアル開催

を予定していたが、10月から衛生ルール等が強化されることが影響し、当初予定していたブース設置ができないことや、関係者の渡航に多大な影響がでることからオンライン開催への変更を余儀なくされた。

④ ドイツにおける見本市への外国からの参加者に関する入国規制

見本市参加者は重要な理由がある商用渡航者とみなされるため、9月末からドイツへの入国が可能となった。「リスク地域」以外（日本も該当）からの入国は隔離不要。「リスク地域」（米国等）からの入国者は入国前48時間以内に発行されたPCR陰性証明があれば隔離不要。入国にあたり出展者は見本市主催者からの出展確認書が必要。来場者は、見本市入場券及び見本市会場における少なくとも1人の出展者との商談予約を証明する書類が必要。出展者、来場者ともビザは不要。

なお、見本市業界団体AUMAによると、ドイツで2020年に予定されていた見本市（合計368件）の61%が、2020年9月末時点で中止又は延期されている。39%は既に実施済み、又は実施予定である。

【ロシア】

① オンライン開催された「ウェルネスメディカル商談会（10/15～）」に出展中であるが、MICE関連の問い合わせはほとんどない。

② なし

③ イベントや観光関連施設における感染症対策

・イベントは50名以下の制限があるが、モスクワ市内では小規模イベントはリアルで開催されている。モスクワ郊外では50名を超えるイベントも開催可能となっており、9月には毎年市内中心部で開催されていた旅行博「レジャー」が郊外に場を移し、5,000名の入場規模にて実施された。入口ではモニターによる検温システムを設置（写真a）。

・コンサートについても厳格なマスク着用の上で開催されているが、観客がマスクを着用していない場面が摘発された場合、主催者側に50万ルーブルの罰金が課されることから、年明けへの延期もみられる。館内は手の消毒剤が設置され（写真b）、一席空けての着席体制となっている。

・ホテルにおける感染症対策は、入り口での検温やマスクの配布に加え、室内には衛生対策キットの用意（写真c）、紙媒体での案内をやめQRコードの掲示（写真d）など。

・飲食店においては入口の検温、店員のマスク着用。モスクワ市は、23時以降営業する店舗においては、入場時にスマートフォンでQRコードを読み取り、入場者の追跡ができる仕組みを構築し、ナイトクラブも含め営業を継続している。

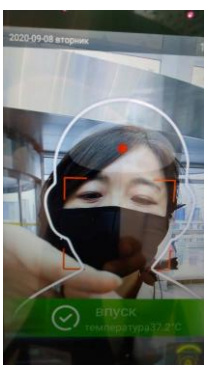


写真 a



写真 b



写真 c



写真 d

④ なし

<JNTO 担当部署>

MICE プロモーション部

TEL : 03-5369-6015

E-mail : convention@jnto.go.jp